

教育委員会定例会（平成21年7月）会議録

1. 日 時	平成21年7月9日（木） 16:00 ～ 18:00
2. 場 所	広瀬歴史記念館 会議室
3. 出 席 者	委員長 小野正師 委員 宇野征一 太田恵理子 三木由紀子 教育長 阿部義澄 事務局長 高橋康文 総括次長 近藤清治 課長 関福生 藤田秀喜 村上久和 曾我幸一 主幹 白石明彦
4. 教育長の 一般報告	教育長報告 6月分行事報告及び7月分行事予定について その他
5. 記録者氏名	社会教育課 帆谷 麻衣
6. 会議の概要	<p><専決処分の報告について></p> <p>報告第5号 平成21年度補正予算（第4号）の議案提出について</p> <p><議案></p> <p>議案第25号 新居浜市市民文化センター運営審議会委員の委嘱について（原案可決）</p> <p>議案第26号 新居浜市広瀬歴史記念館運営協議会委員の委嘱及び任命について（原案可決）</p> <p><その他></p> <p>(1) 平成21年度中学生海外派遣事業について</p> <p>(2) 国登録有形文化財の新規登録について</p> <p>(3) 正光寺山古墳での発掘調査体験について</p>

小野委員長	<p>それでは定刻がまいりましたが、定例会を始める前に、先日栗田委員の後任に選出されました、定例会には本日からご出席をいただきます三木由紀子委員がお越しいただいておりますので、ご本人様から自己紹介とご挨拶をお願いしたいと思います。</p>
三木委員	<p><自己紹介及び挨拶></p>
小野委員長	<p>どうぞよろしくお願いいいたします。それでは、平成21年第7回新居浜市教育委員会定例会を開催いたします。本日の会議録署名委員は、三木委員さん、宇野委員さんにお願いいいたします。会期は本日限りといたします。平成21年第6回定例会会議録承認は、太田委員さん、栗田委員さんにご署名をいただいております。</p> <p>それでは教育長さんの一般報告からお願いいいたします。</p>
阿部教育長	<p>それでは、一般報告を行います。資料の2ページをご覧ください。6月の主な行事についてご報告いたします。</p> <p>2日 瀬戸フィルハーモニー交響楽団による学校出前コンサートが大生院小学校で、また、3日には新居浜小学校で行われました。いろんな楽器の音色に興味を持って熱心に聴いてくれました。指揮者にチャレンジのコーナーではたくさんの児童が立候補していたので、大変盛り上がっていました。</p> <p>5日 教育委員会の学校訪問が垣生小学校で行われました。また、8日北中学校、15日中萩小学校、16日東中学校、17日川東中学校、18日多喜浜小学校、19日角野小学校、22日船木小学校、24日船木中学校、25日中萩中学校、26日角野中学校、29日高津小学校、30日泉川中学校、7月1日金子小学校、2日ひびき分校、3日別子小・中学校で実施されました。</p> <p>第29回全日本学童軟式野球大会に出場することになった船木パイレーツが市長に報告に来られました。3年ぶりの全国大会に出場することになった選手たちから力強い抱負が語られました。</p> <p>6日 第3回新居浜市ジュニアカップソフトボール大会が前日の雨で開催が心配されましたが、県内各地からの39チームと広島県や香川県の5チームの参加により44チームで盛大に開催されました。予選リンクと決勝トーナメントを勝ち抜いて男子は金子スポーツ少年団が優勝、中萩 JSS が準優勝となりました。女子は新居浜ラビッツが優勝しました。</p> <p>7日 平成21年度新居浜市愛護班連絡協議会総会が開催されました。発足以来、子どもたちの幸せを願っての活動でしたが、社会状況の変化や参加団体の減少から、連絡協議会としての活動は休止とし、各単位班としての活動や校区としての活動は今後も継続していくことを決議いたしました。</p> <p>9日から11日 市議会本会議一般質問が行われました。今議会では、5名の議員さんからご質問がありました。主な質問といたしまして、多喜浜塩田、新型インフルエンザ、公共図書館の役割や学校図書館支援事業、学校給食センターの活用、郷土愛、公共施設の改築の方向性についてなどがありました。</p>

12日 市議会の福祉教育委員会が開催されました。

垣生小学校に「にはまスクールエコ運動」認定証が市長より授与されました。垣生小学校は、平成18年から公民館を含めた地域やPTAからの支援を受け、環境教育に全校児童で積極的に取り組み、認定を受けていましたが、三年間の認定期間を経てさらに更新して取り組んでいくことになり認定証が授与されました。

平成21年度新居浜市小・中学校ふれあい運動会が市民体育館で開催されました。24校の小・中学校の特別支援学級、今治特別支援学校新居浜分校の児童生徒103人のほか、保護者の方々、学校長、特別支援学級担任者等約200人の参加がありました。温かい声援に包まれ、笑顔で積極的に競技に参加できていました。また、助け合いながら、一人ひとりが自分の役割をきちんと果たす姿も見られました。熱い一日でしたが、体調不良や負傷者もなく無事終了することができました。

「学校図書館を利用した授業実践について」と題しての図書館情報交換会研修会が、学校関係者、一般参加者、図書館職員等42名が参加して開催されました。講師に小学校教諭から帝京大学講師をされている鎌田和宏先生の体験を通して、学校図書館の整備、学校図書的重要性などを、教え子への調べ学習の力を要請されたエピソードを交えて話されました。学校現場で講習を生かしてもらいたいものです。

13日 教育懇談会が別子中学校区で開催されました。また、15日中萩中学校区、16日西中学校区、19日南中学校区、21日川東中学校区、22日角野中学校区、24日東中学校区、30日泉川中学校区、7月2日北中学校区、3日大生院中学校区で実施されました。

公民館活動推進リーダーの「志縁人養成塾」が開塾され、開講にあたっての講義として「地域の教育力向上に向けて」と題して、放送大学愛媛学習センター所長・愛媛大学名誉教授讃岐幸治氏が話されました。

15日と16日 平成19年度実施の耐震工事についての国の会計実地検査が行われました。

16日 第9回全日本少年少女空手道選手権大会へ愛媛県代表として出場することになった小学2年生から6年生までの5名が市長に表敬訪問されました。

18日 市議会本会議が開かれ、委員長報告、討論、採決等が行われました。

市内5高校6人の特別支援教育担当の先生方に集まっていただき、サポートファイル(個別の支援計画)について説明を行いました。そのあと、意見交換を行い、今後、中学校と高等学校との連携のため、懇談会の開催を企画することといたしました。

19日 市内の文化財である「山根競技場観覧席」・「旧別子鉱山鉄道端出場鉄橋」・「旧別子鉱山鉄道端出場隧道」・「旧泉寿亭特別室棟」・「旧山根製錬所煙突」が文化審議会の報告・答申を経て、文化庁の文化財登録原簿に登録されることになりました。

20日 東雲市民プールが開場されました。この日は、12時30分から17時30分まで無料で開場されました。子ども1193名、大人406名、合計1599名の入場者があり、子ども

たちのにぎやかな姿が見られました。事故のない楽しい暑さしのぎができることを願っています。

21日 平成21年度第1回特別支援教育講演会を別子銅山記念図書館において、国立精神・神経センター精神保健研究所 神尾陽子先生を講師としてお招きし、午前中は保育園・幼稚園の保育師等を対象とし、午後からは小中学校教職員を対象とし「広汎性発達障害の早期発見から支援まで」と題して、それぞれのライフステージにおける「スクリーニングと支援の実際」についてご講演をいただきました。それぞれ115名、55名の参加をいただきました。今後、神尾先生には早期発見の部分で新居浜市と共同研究という形でかかわっていただくことといたしております。

第7回日本語学習者による日本語スピーチコンテストが実施されました。フィリピン、インドネシア、イギリス、中国、韓国、アメリカ合衆国の出身者が、初級6名・初中級6名・中級4名・上級4名が参加し、短期間の学習ではあったと思いますが、ユーモアを交えたすばらしいスピーチを披露してくれました。

日本古来の伝統文化でもある「将棋」を通じての親・子・孫の3世代交流が可能な、第16回新居浜市小中学生将棋大会・全国中学生選抜将棋選手権愛媛県大会が開催され、約120名の選手たちが熱戦を繰り広げていました。

24日 平成21年度 県人権教育協議会新居浜支部代表役員会がもたれ、愛媛県人権教育協議会新居浜支部総会の開催要項について審議されました。総会は7月1日に開催され、平成20年度の事業内容の報告や平成21年度の計画とともに、人権教育に長年かわり功労が認められた呼石志津子氏・高橋妙子氏・工藤砂絵子氏・真鍋萬里子氏・村上憲治氏・丹 絹子氏・石川隆文氏・長谷建樹氏の8名が表彰されました。

26日 新居浜地区防犯協会の理事会・総会が開催されました。

第40回記念新居浜市民体育祭の第1回打ち合わせ会が開催されました。10月の大会までに数回の会合が持たれます。より多くの市民参加を目指して大会関係者の方々の努力に感謝申し上げます。

28日 第18回少年拳武道選手権大会が身体障害者チャリティーとして開催されました。

29日 臨時校長会が開催されました。新型インフルエンザ、夜市、給食の試食会等への対応について話し合いました。また、体罰についての注意を行いました。

平成21年度青少年健全育成標語入選者表彰式が執り行われました。最優秀作品として、高津小学校 近藤哲弘さんの「おかあさん ぼくをいっぱい しててね」、川東中学校 山内里桜さんの「大丈夫 あなたの居場所は ここにある」が表彰されました。また、優秀作品5点、入選14点が表彰されました。今年度は各小中高校からの代表として81作品の応募がありました。これらの標語は、市政だよりの8月号に掲載されるほか、各学校や公民館等に掲示されます。

7月1日 第39回愛媛県国公立幼稚園教育研究協議会西条今治支部研究会が市立神郷幼稚園を会場に開催されました。

2日 不登校対策検討委員会が開催されました。不登校の現状、

<p>小野委員長</p>	<p>小中連携指定校の取組、中1ギャップへの対応等について報告や審議・意見交換が行われました。</p> <p>4日 新居浜を明るくする運動大会が開催されました。社会を明るくする運動にちなんだ応募作文の優秀作文児童・生徒に82作品の内4点に垣生小学校藤本菜緒さんの「にいのはまの町を明るくしましょう」、泉川小学校田中彩葉さんの「やみを光にかえる人・・・保護司」、東中学校村上愛奈さんの「自分を変えよう」、工業高等学校井上寛之さんの「一人が変わって明るい新居浜市」、また、標語の応募では135名中、大生院小学校井原愛花さんの「きもちよく すなおなこえで ありがとう!」など10名の作品が選ばれました。</p> <p>5日 広瀬歴史記念館の特別企画展「広瀬家ゆかりの洋食器」展が8月16日までの期間開催されます。</p> <p>6日と8日 新居浜市学校給食について、市議会議員を対象とした試食会が行われました。</p> <p>7日 第43回中学生弁論大会が開催されました。12名の弁士が「夢」や「日頃思っていること」「体験したこと」を感情込めて語ってくれました。第1席に西中学校生田和望さんの「わたしと家族」、第2席に泉川中学校河村柚希さんの「『言葉』の意味を考えて」、第3席に別子中学校北田佳子さんの「私のふるさと別子で」が選ばれました。生徒たちのこのような弁論活動に長年支援をいただいている新居浜ロータリークラブ並びに新居浜南ロータリークラブのみなさんに感謝申し上げます。</p> <p>その他、7月の主な行事予定について報告を申し上げます。</p> <p>11日 人権のつどい日</p> <p>16日 愛媛県市町教育委員会連合会定期総会</p> <p>17日 公立幼稚園・小中学校第1学期終業式 第61回県総合体育大会新居浜市選手団結団式</p> <p>19日 民間ユネスコ運動の日記念事業 よんでん科学実験フェスタ 特別支援教育講演会 (幼・保の保護者・教職員対象、別子銅山記念図書館) 第61回県中学校総合体育大会～23日</p> <p>22日 第45回新居浜市小学校水泳記録会(垣生小・中萩小)</p> <p>26日 小中子ども会議(ウイメンズ) 夏休み親子野外教室(郷土美術館)</p> <p>28日 第61回県中学校総合体育大会報告会(文セン) 第47回愛媛県社会科教育研究大会 東予教育事務所教育長会 NHK小学校合唱コンクール(文化センター)</p> <p>29日 NHK中学校合唱コンクール(文化センター)</p> <p>30日 子ども環境サミット(ウイメンズ)</p> <p>31日 正光寺山古墳発掘体験</p> <p>以上で、一般報告を終わります。</p> <p>ありがとうございました。何かご質問等はございませんか。</p>
--------------	---

太田委員	<p>私は、特別支援教育の講演会に行かせていただきました。神尾先生の講演は分かり易く、先生がアドバイザーとして研究に参加して下さるのは心強いと思いました。それで、スクリーニングを開始する予定で研究を始めるという事なのですが、おおまかなスケジュールといたしますか、いつ頃の導入の予定でしょうか。</p>
曾我発達支援課長	<p>実は来週の月曜日なのですが、発達支援課の石見と指導主幹が、東京に研修に行ってきます。そのプレで始めるのは9月以降になると思います。それまでの間、現場の方に研修をしていただいて、実施になる予定となっております。</p>
太田委員	<p>9月以降に実験的に導入するという事ですか。もう実施になるのですか。</p>
曾我発達支援課長	<p>実施といっても、導入に向けてのという意味合いですから、実際の正式なというよりは、試験的なものです。</p>
太田委員	<p>全部の1歳半の子どもに導入するのですか。</p>
曾我発達支援課長	<p>1歳半の子どもなのですが、保護者の同意というものが原則的には必要となります。</p>
阿部教育長	<p>この事業が成功するかどうかは、担当の先生と該当の保護者との人間関係がどれだけ築けるかによるものだと思います。教育委員会としては、ぜひこれで将来小学校や中学校へ持っていき、そしてその支援をしていきたいという思いがあるので、慌てる事なくじっくりとしていきたいと思います。</p>
太田委員	<p>健診でチェックされますよね。ひっかかる子どもの経過を見ていく保健師さんは何人くらいでしょうか。</p>
曾我発達支援課長	<p>すみません。人数は今すぐには分かりかねますが、当然保健師もですが、私ども職員も関わっております。人数の確認をします。</p>
阿部教育長	<p>次回に具体的な事をお伝えできたらと思います。</p>
太田委員	<p>それと実際に疑われる子どもが、診断となると医療機関が関わるようになると思うのですが、小児科医が少ない現状の中で、どこの病院で、どの先生で予定を立てられているのでしょうか。</p>

<p>曾我発達支援課長</p>	<p>検査でひっかかった、実際どうかなという子どもは、全部が全部医療機関で健診を受けるわけではないと思います。その中の一部が、もしかしたらという事で、保護者の方が健康診断を受けさせようかなと思われるのではないかと思います。ですから、診断を受けるのではなくて、子どもさんにいかに関わっていくか、発達支援課と保育者が関わって行って、それを保育園、幼稚園、小学校、中学校にどう引き継いでいくか、そういうことが必要なのかなと思います。</p>
<p>阿部教育長</p>	<p>新居浜市の発達支援課としては、初めての取組をしておりますし、今までの保健センターの活動に、そういう指導の援護を入れた形の事となってきますので、先ほども言いましたが、よほどの配慮をしなければ成立していきません。これが成立しないという事になりますと、やはり従来通り悩みを持った保護者、また子どもの発達支援が出来ない事になるので、色々な配慮、注意点について、ご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いします。</p>
<p>小野委員長</p>	<p>ありがとうございました。その他ご質問等はございませんか。この6月は特に学校訪問と校区教育懇談会がございますので、後ほどその他の所で、皆様全員に感想と来年に向けてのご意見があれば、お聞かせいただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>それでは続きまして、専決処分の報告について 報告第5号 平成21年度補正予算(第4号)の議案提出について、ご説明をお願いいたします。</p>
<p>近藤総括次長</p>	<p>資料の8ページをご覧ください。報告第5号で専決処分いたしました平成21年度の新居浜市一般会計予算第4号のうち、教育関係の予算について、ご説明させていただきます。資料の10ページをご覧ください。</p> <p><資料に基づき説明></p>
<p>小野委員長</p>	<p>ありがとうございました。続きまして議案に移りたいと思います。本日の議案は、第25号、第26号につきましては、いずれも人事案件でございますので、新居浜市教育委員会会議規則第37条の規程により、この会の最後に非公開で審議させていただきたいと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
<p>委員一同</p>	<p>はい。</p>
<p>小野委員長</p>	<p>よろしいでしょうか。それでは異議なしと認めさせていただき、先にその他に入らせていただきます。</p>

阿部教育長	<p>まず、平成21年度中学生海外派遣事業について、ご説明をお願いします。</p> <p>はい。教育委員会のほうで、国際交流の一環としての、中学1年生10名、3年生10名の、アメリカウィスコンシン州フランクリン市教育委員会との協定により、現地のホームステイを中心とした、学校生活を体験するという事業についてです。今年の春以降に新型インフルエンザが流行しまして、この事業はちょうど10月末から11月10日ぐらいまでの間の、ウィスコンシン州での体験活動になります。それに派遣をするかどうかという事で、ご審議いただきたいと思えます。現状といたしましては、学校現場には5月中旬に、生徒の選出をお願いするという形で、文書を配布していますが、インフルエンザの流行等で、学校現場で選出の決定を待ってもらっています。希望は出ておりますが、決定をしていないという状況です。ただちに本日の決定次第で、各学校へ通達したいと思います。</p> <p>なお、参考として、新型インフルエンザの患者は現在も2,000名に近い状況で、それと日本中のほとんどの県で発生しています。それと今回愛媛県で小松高校での発症例、修学旅行で発症したという事例があります。その対応として、その該当者の学年を1週間学年閉鎖という形で休校しました。新居浜市の場合、中学3年がアメリカで発症したという事になりますと、生徒の行動範囲にもよりますが、その学年、1年生と3年生で、どこかの学校で学校閉鎖という事になります。県の対応などを見ますと、実施について考える余地があるのではないかと思います。なお、今後の予想として、冬場に入っていった時に、またインフルエンザのレベルが変わり、いわゆる強毒性になるのではないかという報道があったりします。季節性のインフルエンザという見方もありますが、対応については、普通のインフルエンザ以上の対応はしているという声もあり、ご意見を色々お伺いして、決定したいと思います。どうぞよろしくをお願いします。</p>
小野委員長	<p>ありがとうございました。ただいま教育長からご説明がありました事について、教育委員さんからのご意見をお伺いしたいと思います。</p>
阿部教育長	<p>この場で決定をして、そして各中学校へ通達します。予算を伴っていますので実施するかどうかについては、最終的には本会で決定したいと思います。</p>
小野委員長	<p>そういう事ですけれども、皆様ご意見をお願いします。</p>
太田委員	<p>これは予測の範囲ですが、やはり秋頃からまた第2波がきて流行す</p>

小野委員長	<p>るだろうという予測があります。強毒性になるおそれもありますので、航空機を使って移動するという事は、かなりリスクが高いと思います。ですから、大事な事業なのですが、私は、今回は控えた方がいいのではないかと思います。</p> <p>ありがとうございました。三木委員のご意見もお伺いしたいと思いますので、お願いします。</p>
三木委員	<p>修学旅行や色々な旅行が延期されてきましたが、今は落ち着いてきて、国内なら再開している所もあると思いますが、海外という事でリスクが高いと思います。ちょっと中学3年生にとっては最後の機会になるので、行かせてあげた方がいいと思うのですが、今の段階では私も控えた方がいいと思いました。</p>
小野委員長	<p>ありがとうございました。続きまして、宇野委員お願いします。</p>
宇野委員	<p>アメリカで1週間くらい滞在という事だったら、向こうで発症した時大丈夫なのかなという心配と、帰って来てその病気が明らかになった時に、秋から冬にかけて、中学3年生は受験の追込みの季節になるので心配と、心配になる部分がありますので、今年は辛抱した方がいいかなと思います。</p>
小野委員長	<p>私もですが、3人の委員と同じ意見で、今年度は残念ですが、見送った方がいいのではないかと思います。以上4名の委員とも、今年は控えた方がいいという意見でした。よろしいでしょうか。</p>
委員一同	<p>はい。</p>
小野委員長	<p>それでは、続きまして、国登録有形文化財の新規登録について、ご説明をお願いします。</p>
近藤総括次長	<p>お手元に、体育文化課より平成21年7月定例教育委員会提出資料を配布させていただいております。先ほど教育長の一般報告の中でもありましたように、6月19日の文化審議会で「山根競技場観覧席」、「旧別子鉱山鉄道端出場鉄橋（足谷川鉄橋）」、「旧別子鉱山鉄道端出場隧道」、「旧泉寿亭特別室棟」、「旧山根製錬所煙突」の5つの物件が、新たに国の登録有形文化財に登録される事になりました。今回登録されるのは、全国で116件でございます、その内愛媛県で新居浜市から5件という事になっております。全国的に累計で見ますと、国の登録有形文化財は7,628件ございます。登録につきましては、</p>

	<p>文化財の指定を保護するという制度で、平成8年から導入をされてお りまして、特に明確な基準というものはないのですけれども、原則的 に50年以上経っているもので、国土の歴史的景観に寄与しているも の、造形の規範となっているもの、それから再現する事が容易でない ものという、そんな項目が何項かございまして、それに照らし合わせ て審議がされて、今回決定されたという事でございます。今回の新規 登録で、新居浜市の文化財保護件数につきましては、国指定文化財が 5件、国登録有形文化財が8件、県指定文化財が14件、市指定文化 財が73件、合計100件という事になりました。</p> <p>お手元に資料として、それぞれ山根競技場観覧席、旧別子銅山鉄道 端出場鉄橋などの詳細がございまして、ご覧いただけたらと思いま す。国登録有形文化財については、今後も色々と、市のイベント等で 紹介されると思いますので、何かありましたら、ご協力をお願いした いと思っております。簡単ですが以上です。</p>
<p>小野委員長</p>	<p>ありがとうございます。何かご質問等はございせんか。それで は続きまして、正光寺山古墳での発掘調査体験について、ご説明をお 願いします。</p>
<p>近藤総括次長</p>	<p>これも、先ほどの資料に添付しておりますが、正光寺山古墳につい ては、現在発掘調査を進めております。その中で、地元の小・中学生 に、体験学習をしてもらいたいという事で、今回計画をいたしました。 実施につきましては、7月31日と8月1日という事で計画をいたしま して、お手元に配布しております資料のように、発掘体験という形 で、学校に配布をさせていただいて、現在募集をかけている状態です。 現在の状況につきましては、小学校が親子での体験という事で、現在 親子で70名の募集があります。一応小学生については、2つのコー スという事で考えていたのですが、応募が多いものですから、もう1 つコースを増やさなければならないかなと考えております。</p> <p>それに対して、中学生の応募が現在6名でございまして、非常に少 ない状況でございまして、中学生につきましては、これ以外に各学校か ら団体で別枠という形での視察というのがございます。夏休み期間を 利用して、自分でもやりたいのだという中学生が、現在6名という事 です。7月10日までの募集ですが、中学生については、なかなか増 えそうにないというのが現状です。以上でございます。</p>
<p>小野委員長</p>	<p>小学校の方を3コースぐらいに増やすという事ですね。何かご質問 はございせんか。それでは、よろしく申し上げます。その他の報告 はございせんでしょうか。</p>

白石主幹	<p>図書館から報告をさせていただきます。資料をご覧ください。「夏休みとしょかんこども探検隊&サイエンス工作教室」というのを、7月23日の木曜日に開催いたします。8月7日開催予定なのですが、「夏の夜のちょっと怖いお話し会」を行います。時間帯も19時15分から20時までという、図書館閉館後なのですが、変わった時間帯で予定しておりますので、お知らせをいたします。よろしくお願いいたします。</p>
小野委員長	<p>よろしくお願いいたします。一点報告させていただきます。先日の大生院校区の教育懇談会だったと思うのですが、小学校の校長先生から、学校の図書館をきれいに直していただいて、子ども達の参加がガラッと変わって、もっと早くしていただければよかったという事で、お礼や感謝の意見が出ておりましたので、お伝えしたいと思います。</p>
白石主幹	<p>ありがとうございます。</p>
小野委員長	<p>他にございませんか。</p>
阿部教育長	<p>こちらの資料をご覧ください。垣生小学校が2度目のスクールエコの認定を受けた、その時の申請書です。具体的にどういう取組をしているかを参考にしていただけたらと思います。</p>
小野委員長	<p>他にございませんか。</p>
曾我発達支援課長	<p>発達支援課からのご連絡なのですが、お手元に1枚の資料が入っております。教育委員さんにのみお渡ししております。実は7月の行事予定で、7月19日に特別支援教育講演会とあったのですが、変更になりまして、8月2日になりました。7月27日から7月30日まで、前期の発達支援のスキルアップ連続講座、8月2日、第2回の特別支援の教育研修会、鎌倉女子大学の冨田先生に来ていただきます。それから8月20日、第3回目の特別支援の教育研修会、松山東雲女子大学の高橋圭三先生に講演をしていただく予定となっております。また冬になりましたら、最後の発達支援スキルアップ連続講座がございますが、この3回につきましては、教育委員さんにぜひお越しいただいたらよろしいのではないかと思います。以上です。</p>
阿部教育長	<p>次に、平成21年度新居浜市の中学校総合体育大会の結果報告並びに7月19日から7月23日の日程で県大会がありますが、その会場と日時を書いたプリントをお配りしております。松山方面にお出かけする機会がありましたら、応援等よろしくお願いいたします。</p>

	<p>次に、平成21年度新居浜市小・中学生子ども会議の資料をご覧ください。7月26日の日曜日、午前10時からウイメンズプラザでありますので、教育委員さんのご参加をお願いしたいと思います。</p> <p>次に、弁論大会の資料をお配りしていると思うのですが、先ほど申しました西中学校の「わたしと家族」という田和さんの文章は最後にご覧いただけます。そして4番目に泉川中学校の河村さんの『言葉』の意味を考えて、そして別子中学校の北田さんですが、自分も最初から聞かせていただいて、中学1年生の北田さんが、たった2人の学校を地域の人達の宝だという形で見守ってくれていると、それに答えられる人になっていきたいという内容で、本当に中学1年生で堂々としていて、自分の意志というものを感じました。ここに原文が載っておりますので、お読みいただけたらと思っております。</p> <p>次に、生徒指導関係の資料をご覧ください。6月の30日以上欠席者は、全部で54名、去年は68名で、やや減ってきているのではないかと言う気はしておりますが、今後の推移を検討しなければならないかなと思います。</p> <p><資料に基づき説明></p> <p>今は、あすなろ教室に通っている17名に何とか元気づける対応をお願いしています。昨年より少しずつ減ってきたのを、何とか続けて対応を積み重ねていきたいかなと思います。</p> <p>なお遅くなりましたが、平成20年度に学校に行き辛くなった児童生徒に意識調査という資料をご覧ください。不登校の子どもについて、不登校対策委員会が実施したアンケートからの分析でございます。なお、この資料につきましては、不登校対策検討委員会から各小・中学校へ配布して、参考にさせていただき、対応に取り組んでいただきたいと思います。</p>
小野委員長	他にご意見はございませんか。
宇野委員	あすなろ教室で学校の行事を頑張っているのですが、あすなろ教室から自分の学校へ登校するというハードルはやっぱり高いのでしょうか。復帰した例がどれくらいあるのか、もし分かりましたら、次回の定例会でお教え下さい。
小野委員長	検討委員会から、子ども達へ保護者の方へのアンケートを取っていただいたのですか。
阿部教育長	はい。保護者と子どもに取りました。
小野委員長	例えばですね、本日の資料の中に、学校別の不登校発生率の6月3

阿部教育長

0日現在の資料を見せていただいているのですが、こういう意識調査やアンケートをどこまで生かせるのか、そして、学校訪問をさせていただく中で、先生方皆さんそれぞれ一生懸命取り組んではいただいているのですが、まだ評論家的な感じでお話しされている場面もございますので、もう少し自分自身の問題として、取り組んでいただけるようお願いしたいと感じます。

不登校問題について、3年生になってというのではなくて、2年生の時もまた、もちろん1年生の時もその傾向があったと思います。こういう所から、原因というのは中学校で発生するのではなくて、小学校時代、また小学校前の家庭生活、親との関係ともまた影響してくるのではないかと思います。現在、教育委員会では、原因は中学生だけではなくて、小学校も含めたものと捉えていく事で、小・中学校連携の対応が何とかできないものかという事を思っています。

そういった取組を、今回の例えば教育懇談会でも説明させていただきましたが、7月13日に小・中連携事業というような形から、子ども同士で支え合う、また悩みを解決していくようなものを、対応していきたいと思います。例えば、資料をご覧いただければと思うのですが、学校へ行き辛くなったのは何年生ごろですかという質問に、保護者の感じているのは小学校4年生、5年生で、早い子は小学校1年生であるという事です。そして、小学校4年生、5年生というのは原因としてそういう小学校時代のもので、そして中学校へ行く時には、やはり教科が違うとか、そういうものがあるのではないかと思います。

資料の3ページをご覧ください。やはり四季で見ると、夏休みの暑い中クーラーなどで家庭を過ごして、そして9月に運動会がある。その運動会の練習で疲れて、運動が不得意な子ども達が、9月をきっかけに不登校になるという事です。次に、5月の連休後に行きにくくなるという、長期の休みで生活リズムが崩れた時に大変になってくるようです。長期の休みの時にあそび癖がついて、生活リズムが崩れるという事から、やはり気の緩みがちのその時に、支援してくれる人がいない場合に不登校になりがちであると予想がつきます。その休みの間、どう支援をしていくか、学校や地域社会の支援がいるのではないかと思います。

そういう前提で資料を見ると、4ページをご覧いただけたらと思いますが、原因で1番多いのは友人関係の事で、いじめやケンカ等が原因であるという事を考えますと、学校の教師の出番が大事であると思います。その教師の対応によって不登校になってしまう、そういう所を学校側が意識する必要があると思います。

資料の5ページをご覧ください。教育委員会でも3年前からIDを使っての対応というのをしましたが、やはり希望者がなかなかいない

<p>小野委員長</p>	<p>という事で、説明しても実際やるとなると少ないです。教育委員会でも色々対応を行っているのですが、そういう所から小中一貫の考え方を取り入れたいなと思っています。</p> <p>学校現場のほうでも、不登校というのは、教育委員会の最重要課題として、捉えていく事について意識した取組をしていただきたいと思います。</p> <p>ありがとうございました。その他はございませんか。ないようでしたら、先ほど申し上げた、学校訪問と校区教育懇談会、皆さんそれぞれご参加をいただきましたので、全体を通しての感想を、来年に向けて何かご意見があれば、お聞かせいただきたいと思います。まず、学校教育課藤田課長からお願いします。</p>
<p>藤田学校教育課長</p>	<p>トップの方が自らの考えをお伝えしているのが、まちづくり校区集会では市長が、教育懇談会では教育長がという事で、保護者の方には良い機会だと思います。最後の方で何校かドキドキした校区もありましたが、自分自身勉強になりました。今年度は方式を変えたことによって、懇談の機会が増え、非常に良かったのではないかと思います。以上です。</p>
<p>小野委員長</p>	<p>ありがとうございました。次に曾我課長お願いします。</p>
<p>曾我発達支援課長</p>	<p>教育懇談会は、私のほうは4、5回参加させていただきました。やはり参加者ですが、少ないかなと思います。学校の先生等がかなり入ってくるのかなというのが1つと、地域と学校と教育委員会と一緒に考えるようなテーマで話し合えるような事はできないかなというように感じました。それが教育懇談会の感想です。</p> <p>それから学校訪問につきましては、2校以外全ての学校に行くことができました。今回私も全然障がいを持った子どもの、実際の学校の状況が分からなかったものですから、ご同行させてもらったのですが、学校の先生、特別担任の先生は本当に一生懸命やっていたているなというのは一番感じました。そして、やはり通常学級にいる子ども、ああいう場面ですから大人しくしているのだろうと思うのですが、やはりそういう中でも何人か心配な子どもさんが見えまして、支援していく必要があるのだなと感じました。以上です。</p>
<p>小野委員長</p>	<p>ちょっと質問なのですが、地域と学校と一緒に考えられるテーマを設けた方が良いという訳ですか。</p>
<p>曾我発達支援課長</p>	<p>あくまで三者と一緒に考えるという事ができたらいいのではない</p>

	<p>かと思えます。どちらかといえば議会方式のように、質問に対して考えるという感じで、懇談会になっていないのではないかという気が若干しました。</p>
<p>小野委員長</p>	<p>ありがとうございました。今回の意見を参考にさせていただきたいと思えます。次に村上課長お願いします。</p>
<p>村上学校給食課長</p>	<p>教育懇談会には何度か出席させていただいたのですが、給食関係では施設が各学校とも30年前後経過していますので、改修要望等もありましたけれども、PTA関係者の参加が多かったという事もありまして、一番大きな問題として、給食費の未納問題について、ご意見やご要望が出されました。今後につきましては、今年度作成したマニュアルを運用していく事になります。教育委員会、学校、PTAの三者が連携して、協力した形で未納について対応していく事が必要であるということに基づき、取り組んでいきたいと考えております。</p>
<p>小野委員長</p>	<p>ありがとうございました。次に関課長お願いします。</p>
<p>関社会教育課長</p>	<p>私も今年は、教育懇談会はあまり参加せず、地元の泉川校区だけ、一住民として出席したのですが、今年教育懇談会をやるにあたって、その前に自治会のブロック長会という、役員が集まる中で、今回こういう会をやるので、ぜひ地域の人と一緒に参加しようじゃないかという働きかけを、恥ずかしい話なのですが初めて行いました。その結果、今回参加の顔ぶれを見ていたら、かなり地域の人が増えていたという気はいたします。特にそれ以外にも、学校支援地域本部という事業を、泉川の場合昨年から取り組んでおりまして、その中で小・中学校の環境美化とか、色々関わりを持ってくれた方が、今回の会の中に集まってくれていたと思えます。その辺で地域と学校がつながるようなきっかけ作りになったのではないかと感じました。特に教頭先生が小・中学校両方から学校の現状報告をしてもらったと思うのですが、その中でも非常に熱いメッセージが、地域に対して投げかけられました。これからは学社連携して進めていくためのきっかけ作りの場として、この懇談会が、地域と学校をつなぐ架け橋になってくれたらありがたいなと思いました。具体的な質問の内容は、PTAの役員の中である程度できあがったテーマを提示しておりましたので、もう少し突っ込んだ話があってもいいのかと正直感じた次第でございます。以上です。</p>
<p>小野委員長</p>	<p>ありがとうございました。次に近藤総括次長お願いします。</p>
<p>近藤総括次長</p>	<p>私も今回初めてという形で、司会進行をさせていただいたのです</p>

	<p>が、大変ご迷惑をかけたと反省もしております。なかなか進行といっても、意見を引き出してまとめるというのは本当に難しいなと思いました。また議題の中身も必要だと思うのですが、まずは人が集まらない事にはどうしようもありません。集まっても特定の人だけになってしまうなという事がありますので、やはり広く参加していただくためにはどうすれば良いかなという事で、もう少し考える必要があるのかなと考えました。以上です。</p>
<p>小野委員長</p>	<p>ありがとうございました。次に高橋事務局長をお願いします。</p>
<p>高橋事務局長</p>	<p>私は昨年まで学校教育課を担当していたのですが、一番大きな問題は、保護者の参加が少ないという事が昨年までに感じた事でございます。そういう意味ではP T Aとも協議して、色々と問題を出していただいて、今年はとても多いという訳ではありませんでしたが、保護者の参加が増えたのではないかと考えております。</p> <p>それともう一つは、今まで教育委員会側からの説明や報告が多すぎて、懇談の時間が非常に短かったという事があったのですが、それも今年は大きく改善されたと思うのですが、それにつきましても、もっと改善をして対応できる事があったのではと思います。</p> <p>それと、想定していない校区の問題点が聞けた事は良かったと思います。以上です。</p>
<p>小野委員長</p>	<p>ありがとうございました。次に太田委員をお願いします。</p>
<p>太田委員</p>	<p>私は申し訳ないのですが、数えるほどしか出席できていないのですが、教育懇談会は、今年P T Aと事前に連絡を取られたという事で、保護者の参加が昨年よりはあったと思います。私が出席した校区では、そう感じました。それで学校からも教育懇談会があるから来てくださいと案内文書もきちんと届いたのですが、市政懇談会の方は、こういう内容で話しますという案内がありました。ですが教育懇談会は内容がわからないまま、日時と場所の案内だけしかないなので、どんな話し合いになるのか分からなくて、興味をそそられないというか、行こうという気持ちになりにくいと思いました。P T Aの役員になっている方とは行きましようという事で出席されたと思うのですが、一体どんな話が聞けるのか、自分たちが発言して良いのかも良く分からないと思います。自分としては、おおまかなテーマだけでも出されたら、集まりやすく、関心のある方は参加しやすいかなと思います。</p> <p>先ほど曾我課長が言われたのですが、共通して話し合いたいテーマ、例えばですが、携帯電話についてどう思うかとか、そういう事をテーマにした話し合いなど、お互いの立場からどう考えているのか聞</p>

	<p>ける会にするのもいいのではないかと思います。</p>
<p>小野委員長</p>	<p>ありがとうございます。次に宇野委員お願いします。</p>
<p>宇野委員</p>	<p>出席だけは皆勤だったのですが、皆さん色々言われたのですが、P T Aに働きかけた事で、保護者の参加、P T A役員の参加が多かったと思います。学校がどうなっているのかという事で、今言われた案内にしても単に形式的にやるのではなくて、こういった事をやりますよという事をプリントに書き添えるだけで、もっと多くの人に来てくれたという事もあったと思います。やはり教育委員会も本気になって、学校にも本気になって欲しいのと同時に、P T Aも本気にならないと、ああいう事が上手く解決しないのではないかと思います。泉川の時に感じたのは、それぞれの立場のある、地域の柱の方が集まっておられるな、説得力があるなと感じました。三者が、地域も含めたら四者が、どれだけ本気になってくれるか、子ども達のことを考えるのだから、P T Aや学校はもっと本気にならないといけないと思います。また、要望もいいのですが、携帯電話についてのよう、意見が出たりするような話し合いができれば、懇談が成立していると思います。</p> <p>学校訪問については、小学校では一様に子ども達は、やる気まんまんで、目が輝いている、早く分かるようになりたい、できるようになりたい、誉めてもらいたい、認めてもらいたい、そういう気持ちが顔つきに表れています。それが中学校になってくると、どこでボタンを掛け違えたのか分かりませんが、教育懇談会の会場の中では、例えばそういう事が心配な子供の事が話題になってもいいのではないかと思います。ですから、ややもすると小学校が悪い、家庭のしつけが悪い、学校が悪いというように悪者探しをしがちですが、皆に及ぶのだと思います。親、社会、学校の先生もそれぞれ悪いのです。しんどい授業の学校は失礼ですが子どもにとっては楽しくありません。そういう所から足元を見ながら教育懇談会で話し合うとか、教育委員会に助けを求めるとか、ヒントをいただくとか、そういう事が教育懇談会を通して、連携ができればいいなと思いました。</p>
<p>小野委員長</p>	<p>ありがとうございました。三木委員さんにも来年ぜひ参加していただきたいと思います。私の感想ですが、教育懇談会では、昨年と違って新しい事として、P T Aの方の参加が多かった事だとか、学校の説明のグランドデザインとか、学校のそういう方針的な事を、従来なら校長先生が出ていたかと思うのですが、今回は教頭先生や主任の先生であったり、そういう先生方が真新しい感覚でご説明いただけなのが新鮮だったと思います。ぜひ現場の先生方や、現場でご苦労なさっている方の色々なご意見なども、もっと出てくるといいのではないかと</p>

阿部教育長

いう事を感じさせていただきました。

それと学校訪問につきましては毎年そうなのですが、学校に入って授業参観をさせていただきますけれども、入っただけでほっとするような学校と、あれとを感じるような学校があります。後ほど子どもさんの姿を見させていただきまして、校長室で少し意見交換をさせていただくのですが、ほっとする学校は、やはりさすがだと思いますし、あれと感じた学校はやはりあれと思います。これは失礼な言い方になるかもしれませんが、色々複雑な問題があつて、本当に大変だと思うのですが、学校経営に関しては、学校のトップでおられる校長先生の姿勢や考え方、毎日の教育現場での何を重点においてどういう思いで学校経営に取り組むか、そういう所の違いが、トップの思いの違いが微妙に出ていると感じました。それにしても、皆さん本当に一生懸命で、先生方には前向きに取り組んでいただいて、ありがたいなと思いました。最後に教育長お願いします。

皆さん本当にありがとうございました。私の感想としましては、もう少し予算があつたらなど、色々な意見を言われて、教育委員会でこうしようという施設設備の充実と、学校現場から出てくる要望がちょっと乖離しているのではないかという気がしました。

それで、昨年と変わったのは、市P連と保護者の参加が少ないという事で、市P連の伊藤会長にお願いをして、担任Pと教育委員会とで、という形をとった結果、保護者の参加が多くなり、逆に地域からの参加は減っていたのではないかという気がします。そういう中で、自分自身運営をしてくれて事前に色々相談をしてくれていたもので、その中で該当している小・中学校との学校運営について、グランドデザインでこうしているという話があつた校区と、そうでない1校だけの話だつた所があつたと思います。後から気がついたので、全部時間がかかってもすべきではないか、というのは、教育委員会として、今年小・中学校9学年のスタンスで子どもを見ていくと考えているからです。小学校は保護者、中学校も保護者がいますが、小・中学校両方にお子さんのいる保護者は少ないだろうと思います。小学生が中学校でどうなるのかと、毎年がらっと変わるわけではないので、どういう方向で中学校が動いてくれるのか、そういう流れが分かる教育懇談会であれば良かったのに、全ての校区でそれがなかったのが残念で、反省の機会という事で、やはり時間がとられても、小・中連携して、こういう形でこうなりますよと示していきたいと思います。

それと、色々なハラハラドキドキするような事もあつたと思いますが、そのハラハラドキドキが、初めて自分の考えていなかった問題が出てきた事じゃないかなと思います。東中校区につきましては、7月2日に浮島校区の代表者6名の方と、小学校の通学区域の事について

<p>小野委員長</p>	<p>話し合いをしました。その話し合いの中で、自分のお孫さんが、浮島小ではなくて、高津小へ行っているという方もおられました。地域の中で転居があったということもありますが、ただ地域で子どもに対する思いというのを、本当によく聞く事ができ、感じる事ができました。そう言いますのは、学校が無くなったら地域が活性しない、地域の活性を学校が担っているという思いが随分しました。そのために、教育委員会もしますが、地域で見守っていこうとする方々と、そして児童の保護者も地域の住民なので、どういう事があればいいのか、そしてそこに学校側もどういう取組をしているのかについて、もう少し積極的に取り組めるようなもの、協力関係が作られるもの、幼稚園児や保育園児が学校へ行きたいと思うような学校紹介、こういう事に取り組んでいく事が必要ではないかという点を、校区の方々と話し合いました。その件につきましては、小学校の校長にも伝えていきますし、教育委員会としても推進していく上で、今後も取り組んでいきたいと思えます。ただ地域の方の距離について色々な思いを見直し、教育委員会も小・中学校の断層間を埋める目的についても、そういう事だったのだという事を言われました。それが分かると、そういう点からいきますと、教育委員会からも説明があって決めた時はいいのですが、それ以後は惰性でやっていたという事で、特別そういう事を説明していかなければならないのかなという気もしました。</p> <p>ありがとうございました。来年で教育懇談会も第7回目になりますが、今年の実省を生かせればと思います。その他はございませんでしょうか。それでは次回の確認をさせていただきます。</p> <p>次回の定例会は8月4日火曜日16時からと致します。</p> <p>非公開となりますので、平成21年度第7回教育委員会定例会を一度閉会致します。ありがとうございました。</p> <p><以下、非公開にて審議></p> <p>新居浜市教育委員会会議規則第54条の規定により署名する。</p> <p>委員名</p> <p>委員名</p>
--------------	---